小学校
３年

根拠をもって、考えを伝え合おう

藤井寺市立藤井寺西学校

教科	国語科	単元名	モチモチの木

本時で育む主な情報活用能力

C－STEP１，J－STEP３
D－STEP１

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。

本時のねらい

物語の登場人物について、地の文と会話文、それぞれを手掛かりに、想像したことを伝え合うことができる。

本時における１人１台端末の活用方法とそのねらい

本文から、登場人物についてわかる根拠となる言葉を見つけて、ロイロノート（１人１台端末）で整理をさせることで、人物について考えやすくする。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

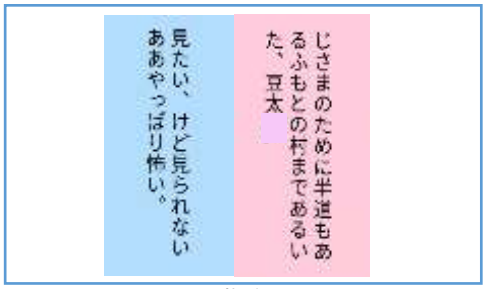
・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 （５分）	○本時のめあてを確認する。 めあて「文の中の言葉をもとに、豆太について考えよう」 ○モチモチの木の第５場面を音読する。	
展開 （３５分）	○本文の言葉をもとに、第５場面の豆太の心情を叙述をもとに想像し、ロイロノートに考えを整理する。【写真１】 ○整理した考えをもとに、豆太の人物像についての考えをロイロノートにまとめる。【写真２】 ○豆太の人物像について班で自分の考えを伝え合う。 ○豆太の人物像について自分の考えを心情曲線を踏まえて全体に発表する。【写真３】	○全場面を通して、同じ型のシート※１【写真１】を使用することで、見通しをもって学習に向かうことができたり、自分の考えを整理しやすくなったりできる。 ※１　整理する内容を３色に色分けすることで、叙述と考えを混同しにくくする手立て ・緑「行動・様子」・赤「会話文」・青「登場人物の気持ち」 ○上記で作成したシートを使用することで、根拠を明らかにして自分の考えをもつことができる。 ○自分の考えを表現する際、上記で使用したシートを相手に見せることで、自分の考えに説得力をもって伝えることができる。 （表現する際の例） 「わたしの考えは、～です。 そう思ったのは（上記のシートの話）」 ○豆太の気持ちを心情曲線※２で整理することで、豆太の心情の変化が視覚化できる。 ※２　縦軸は、豆太が勇敢なのかおくびょうなのか。横軸は、場面の進捗。
まとめ （５分）	○本時の学びをノートにふりかえる。	

１人１台端末を活用した活動の様子

【写真１】 叙述をもとに自分の考えをもつ



【写真２】豆太の人物像をまとめる

【写真３】豆太の心情を場面全体で俯瞰して読み取る

児童生徒の反応や変容

・学習の流れをパターン化することで、児童が見通しをもって学習に取り組むことができた。第１場面を学習したときよりも、本時では、スムーズに読み取ることができるようになっていた。
・話すときに、教科書の文に立ち返って根拠を話すことができる児童が増えた。
・思考整理の図を事前に作成することで、班での交流の際、自身の考えとその根拠を伝える習慣がついてきた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・ロイロノートでのワークシート作りでは、一つの型（思考整理図）を作ることで、どの場面でも使うことができるので、説明に時間がかからない。また、次の物語文でも活用することができる。　（写真１のワークシートを参照）
・１時間の中で思考整理・意見の交流まで行ったが、学習形態に慣れるまでは、思考整理に１時間・意見交流に１時間と分けて行う方が効果的だと考える。